

初歩からはじめる品質活動

基礎コース

製品やサービスの品質は会社の命であり、社員一人ひとりにとっても命です。品質問題は会社の存続をも決定づけてしまいます。この講座では品質管理（QC）の基礎スキルや現場で使える品質の見える化手法を学びと共に、モノづくり品質の基本となる現場での実践方法や考え方をわかりやすく解説します。講義だけでなく実践に役立つ演習やグループでの討議も取り入れています。

対象 ものづくり現場のリーダー（中核人材）の皆様
経験年数5～10年程度

定員 40名

時間 9:30～16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 平成30年 4月19日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度（フォローアップ）を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

講師紹介

中居 仁司

1974年から複写機メーカーで複写機の研究・設計を担当。タグチメソッド・品質工学の社内研究会メンバーとして現場での実践・普及活動にも従事。1985年電機メーカーに転職後レーザープリンターの研究開発・製品化を担当。2000年以降、商品戦略・企画推進や組織マネジメント業務に従事。特許戦略や技術開発の推進、CF T（部門横断した特定機能チーム）の編成・運営も数多く経験。2013年から同社人事部門で人材育成・キャリア研修の企画推進を担当。日本画像学会会員、キャリアコンサルタント（国家資格）

プログラム

1. 品質の重要性を考える

- 1 日本の製造業で最近、品質問題が多いのは何故？
- 2 品質とは何？ 様々な品質の定義
- 3 お客様満足の「お客様」ってだれのこと？
- 4 品質管理活動が会社を支える

2. 品質管理の基本を理解する

- 1 品質管理の基本的考えかた
- 2 PDCAサイクルと3現主義（現場、現物、現実）
- 3 QC的問題解決法
- 4 QC七つ道具、新QC七つ道具

3. 品質管理の基礎スキルを学ぶ

- 1 データのばらつきに注目
- 2 統計的方法を使ってデータで語る
- 3 管理図と工程能力指数
- 4 品質保証と信頼性

4. 品質の見える化手法をものにする

- 1 気付かない問題や隠れている要因の見える化
- 2 有効な対策の見える化と全社展開
- 3 IoTの利用とセンシング技術でデータ収集

5. 職場で品質向上運動を進める

- 1 QCストーリーで問題解決
- 2 改善活動と標準化、ポカよけ
- 3 もしも品質問題が起きたら
- 4 まとめ